

《6月の番組ガイド》

.....鳥取市行政番組.....

『こんにちは鳥取市です』【放送】毎週金・土
鳥取市の施策や事業の取り組み状況、各種行事、お知らせを紹介します。

【話題・特集】
▷金婚・ダイヤモンド婚祝賀行事
▷開幕！鳥取市民体育祭
▷とっとりレポート！
▷市役所きてみて知って！



昨年の「鳥取市民体育祭」

静止画文字情報 『鳥取市からのお知らせ』【放送】毎週水・木・金・土



イベント・募集・相談などの各種お知らせを、文字画面と音声でご案内します。

いなばぴよんぴよんネット 自主制作番組

農業番組『いなばアグリタイム』【放送】毎週水・木

特産・砂丘ラッキョウや梅の収穫の様子、子どもたちの農業体験など、市内各地の農作業の様子をお送りします。

地域情報番組『とっとりウォーキング』【放送】毎週日・月

小学校の新一年生を紹介する「こんにちは一年生」や各地の行事、児童生徒の農業体験などをお伝えします。

生活情報番組『ぴよんぴよんワイド』【放送】毎週火

子育てや健康をテーマに、暮らしに役立つ情報や話題をお届けします。

手話番組『手話でコミュニケーション』【放送】毎週日・月

ニュースや話題、行事、お知らせを手話や字幕で紹介します。

※番組の放送時間や内容はホームページまたはデジタル放送の電子番組表(EPG)をご覧ください

情報をお寄せください！
いなばぴよんぴよんネット ☎0857-22-6111
※放送予定は予告なく変更することがあります。
番組の放送時間は、ホームページでも紹介しています。
http://www.inabapyonpyon.net



「足湯」でのんびりと過ごす



蛇口からも温泉！

家庭的な温かい雰囲気を持つ静かな温泉街



「熱っ!!」Tシャツ

吉田さんは、自分のできることは料理しかないと思いい、イベントに出店するために

ことなのか」。吉田さんの自問自答の日々が続く。しかし、「応援してくれる人たちのためにも今、自分ができることを少しずつ始めていかなければ」と感じている。「ゆつくりとした時間が流れる吉岡温泉、こぢんまりとしたこの町だからこそ町全体でお客をもてなすことができる。吉岡温泉の魅力はそこにある。多くの人に来てもらいたい。味わってほしい」と強く語る吉田さん。その魅力を消さないために、吉岡温泉に住む一人ひとりが団結し、もてなし

ふるさとへの思い

1000年以上も続く源泉かけ流しの湯どころ、吉岡温泉。江戸時代には、鳥取の奥座敷として栄えた宿場町で、今もその趣を残している。「子どものころは、祭りに

「子どもがいて楽しかった」と話す吉岡温泉旅館「あづまや」の若大将、吉田裕志さん(33)。吉田さんは高校卒業後、料理学校に通うため大阪へ。その後、鳥取市内のレストラン

シリーズ 元気です

まちに熱気を取り戻したい!



吉岡温泉への熱い思いを語る

などで働き、一昨年、実家である旅館「あづまや」の跡継ぎに。久しぶりに参加した地元のお祭りや昔のにぎわいが失われていることに寂しさと物足りなさを感じた。「町内の人と旅館組合と一緒にまちおこしをしたい」。吉田さんは、活気のある祭りを行うことで町も元気になると思った。「祭りは多くの人が訪れ、吉岡温泉を知ってもらおうチャンス」、吉田さんの思いは募る。

「プリン」や「ようかん」を考案。特にプリンは美味しいと好評。何度も買いに来るお客さんが出てきた。「このプリンを町の名産にできないか」と、地元の素材にこだわり改良。旅館やインターネットで売り出した。祭りをいっそう盛り上げようと、友人に声をかけ、屋台を手伝ってもらうことに。心一つに団結して盛り上げようと、おそろいのTシャツを作った。背中には「熱っ!!」の大きな文字。吉岡の湯が「熱い」こと「熱い」人間になりたいという2つの意味をかけている。「まずは自分たちが楽しむことが大切」と吉田さんは袖を通す。



とっとりも クリーミーな食感!

気軽に立ち寄れる場を

吉田さんは、吉岡温泉に気軽に立ち寄る場所があればと、町内の空き店舗を自らの手で改装し、「ヒイラギカフェ」を完成させた。「気軽に寄ってもらえたら

の気持ちを持ち続けることが大切だと確信している。「地元」の熱気を取り戻すのも吉岡らしい歩幅でゆつくりと静かに、ゆる〜く、進めて

若者の取り組みに大きく期待!
吉岡温泉旅館組合 組合長 川谷行孝さん

吉田さんは先を見る目があります。この取り組みは温泉街の活性化につながると期待しています。今年のホタルまつりでも、中心になって活動してくれており、地域の方の参加を呼びかけ盛り上げようと頑張っています。楽しい祭りになりますよ。みなさんぜひ、吉岡温泉にお越し下さい。

吉岡温泉ホタルまつり
とき 6月16日(日) 17:00~21:00
ところ 吉岡温泉町
内容 足湯、人力車、屋台、路上イベント、とんど茶屋など
※浴衣でお越しの方は人力車が1回無料
※6月1日(土)~20日(木)(16日を除く)、ホタル見学シャトルバスを運行(20:00に北川旅館前出発)
☎吉岡温泉ホタルまつり実行委員会 0857-57-0800

ゆつくりとしたまち、ゆつくりと変化を

「新しいことを始めるのが、歴史ある温泉街にとってよい」と語る。5月の試験営業では、看板を見て立ち寄る人や地元の人などが訪れ、少しずつ手応えを感じている。営業が不定期になるなど課題もあるが、「今やる事に意味がある。様子を見ながら少しずつやっていきたい」と語る。ホントに嬉しい」と笑顔の吉田さん。「地元の食材にこだわったメニューや吉岡の話をして、地元を知ってもらおう場にもなれば」と夢を語る。本業の旅館のことがあり、



町内でなじみの食料品店「柵屋」が空き店舗となり、所有者の協力のもと改装。「ヒイラギカフェ」として再生した